



令和3年1月29日発行 中等新報第87号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

1年生スキー授業 ～ 仲間と一緒にチャレンジ！～



インストラクターの指導に従って踏み出してみると…、快い雪面の感触が伝わってきました。

1月18日（月）、1学年が「スキー授業」を実施しました。コロナ禍の影響で、蔵王での「スキー合宿」は中止としましたが、地域の自然に触れ合う中で、集団行動のマナーやルールを学び、学年内のコミュニケーションを深めるというねらいを達成するため、期間を短縮し、活動場所を県内（二ノノックス）に替えて行うことになりました。天候には恵まれませんが、参加生徒は皆、積極的にこの活動を楽しみ、それぞれの発見を持ち帰ってくれました。以下に、生徒の感想をいくつか紹介します。

〔スキー授業をとおして成長したなと感じること〕

- 友だちの良さを知り、積極的に発言したり、取り組んだりしたこと。
- 前は嫌なことがあったら投げ出していたけど、たくさん練習して、苦手だったスキーができるようになった。
- 今まで話したことのなかった人と協力できました。あきらめない気持ちが芽生えました。
- 仲間と活動したことで、友だちの大切さを知った。
- Let's try! の心を持たれた。
- チームワークを持つことができた。班の中で、スキーがうまい子と少し苦手な子で分かれていたが、できる子だけが楽しむのではなく、練習中に転んでしまった子をみんなで助けたり、遅い子を待っていたりして、とても良いチームワークだったと思う。
- みんなで一つのことに集中して取り組むことができるようになったこと。
- 私は今まで一部の人としか話さなかったのですが、スキー授業では話したことのなかった人とたくさん話せました。いろいろな人と関わって良かったです。
- 今年初スキーでとても緊張していたが、班の人たちとの仲が深まって、とても楽しかった。スキーがうまくなったように感じた。
- 前はあまりうまく滑れなくて、助けられる側だったけど、友だちが転んだときに助けることができた。
- 私はいろんなことに挑戦するのが苦手で、「あんな雪山から、けがをせずに帰ってこれるのか」なんて思っていました。しかし、昨年の私より、はるかに挑戦するのに慣れていて、上手に滑れました。楽しかった！
- スキー場の人たちにしっかりとお礼や挨拶をすることができた。
- 班長の仕事をこなすことができた。
- 返事、うなずきなど、当たり前のことを自然にできるようになったこと。
- 時間を守ることの大切さが分かった。

レストハウスでのひととき。学校とはまるで違う環境の下、友だちとの会話がはずみます。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>